

# ゆきとじいじいのオリエンテーリング問答

渡辺幸 + 武石雄市

NO 4

ゆき：渡辺 幸

爺爺：武石雄市

[ミディアム大会当日]

ゆき「もしもし、じいじい、僕お手伝いに行けなくなったよ」

爺爺「どうしたんだ、みんな待ってるよ」

ゆき「みんなって？、さほちゃんは来てるの？」

爺爺「さほちゃんは、ゆきと同じで昨日学校があったから来てないけど、璃衣紗ちゃんが上手にスキーを滑って、嬉しそうだよ。ゆき君は、まだなのって言ってたよ」

ゆき「璃衣紗ちゃんと遊んだことないけど、僕スキーやりたかったな」

爺爺「三好さんのおばさんが、ゆきちゃんが着たらおみやげ上げるって言ってたよ。ゆき、ママは？」

ゆき「ママ 気持ち悪くて運転できないんだって」

ゆきのママは、3人目を懐妊している。7月が予定日だからつわりかな？

ゆき「じいじい、パン屋さんに行くところの橋大丈夫だった？」

爺爺「パン屋さんに行く橋は大丈夫だったけれど、ほかの二つの橋は、去年の雪解け水に流されて、又架けてもらったよ」

ゆき「フーン、水の力ってすごいんだね。今度は大丈夫？」

爺爺「多分大丈夫だけど、でも、わからないよ」

ゆき「橋、又流されたら又架けるの？」

爺爺「さあ？、オリエンテーリングは自然の中で、自然を壊さないでやらなきゃならないけど、磐梯高原は橋を架けないとスキーが出来ないからなあ」

ゆき「ぼく、今年ががまんするけど、来年、橋を見に行ってもいい？」

爺爺「春になって、かたゆき(硬雪)になったら来てみようか？」

ゆき「うん、そうしよう。バイバイ」

(34pより続く)

環境問題とならび、ごみ問題は他人の土地の上でやらざるを得ないオリエンテーリングではスポーツの存続にも関わる。そしてすでに深刻な問題となりつつある。今回の議論から浮かび上がったことは、私たちはまだこの問題に対してモラルに訴えるという一面的で実効性の保証のない方法しか持っていなかったという点である。ごみ問題一つをとってみても、さまざまな視点があるし、その対応策も多次元的である。それらを駆使して、私たちはごみ問題に迅速かつ的確に対応してゆかねばならないのである。

## プレゼントコーナー

今月のプレゼントは

36ページで紹介のトレーニングダイアリー  
先号で紹介の「道迷いを防ぐ最新読図術」

Eメールまたは手紙で希望のプレゼント名と今月号で良かった記事・その理由を書いて、マガジン編集部まで送ってください。

いずれも5名様に差し上げます。応募者多数の場合には抽選となります。

締め切り 2001年3月31日消印有効

送り先

399-31 松本市芳川小屋 900-15 木村方

オリエンテーリングマガジン宛

Eメール：[om@orienteering.com](mailto:om@orienteering.com)

沢山のご応募お待ちしております。